

# 藤棚新聞



第26号  
発行  
2012年10月20日  
藤棚新聞



## 【藤の棚のある街】雑感

藤棚1番街協同組合理事長 神谷利光

日頃は藤棚地区商店街をご贖いいただき誠にありがとうございます。

この地は古くから【藤の棚のある街】として知られていたもので、昭和3年に近隣の各々の町会名を『藤棚』に変えて今日に至ったようです。国道1号線から西区役所付近までの長い距離に亘り沢山の商店が展開し、又その古い歴史(大正末期?)でも市内では不二ではないかと思えます。お客様も、又店主も二代目・三代目となり、世代の誼を元にして手から手へ心を込めて確かな品物をお届けし、地域の暮らしに微力ながら役に立って今日に至っています。

特別なパフォーマンスもなく、親切・誠実をモットーに商いをしておりますが、小街に拘らず全国的に大変厳しい商店街不振時代です。当地は皆さんの『商店街、頑張れ~』の応援を頂き毎日を楽しんでいて、これは皆さんのお陰と、感謝を致しております。当街を『ハートフル商店街』と嬉しい名付けを行政から頂き支援もいただいて、今までより一層の温かで潤いのある街になるように励んでいくつもりです。

すぐそばに来ている少子高齢化社会には『商店街』は欠かせない存在になることは確実視されます。暮らしに必要な商品だけでなく、福祉・見守りまた防犯にも商店は有力な存在です。これからも懸命に一同頑張っていく所存ですので地域の皆さん方にも今まで以上のご利用・声援を節にお願い致します。



### 気になるお店シリーズ

### ファミリーカフェ MADOKA



サンモール西横浜商店街の道を歩いていると、明るい白色の店先が目につくファミリーカフェ・マドカが現れます。とても親しみがあって家族を感じさせて、興味をそそられます。

マドカは、以前は向かいのビルで40年くらい営業していて5年ほど前に現在の場所に移りました。大手のファミレスと違うのは、料理は注文を受けてから作ること、初めての方には丁寧に、なれた人には親しく接するフレンドリーな対応を心がけていることだそうです。

メニューは手作りで、家族連れ、若い人や年配の方それぞれに合わせて考えています。中でも“サラスパ”は生のスパゲッティを使って、サラダとのコンビネーションを工夫した、マドカが元祖の品だと若い店主は誇らしそうに話してくれました。お店では先代から言われている「進化する時代に合わせて」をモットーにしています。秋からは好評のグラタンが始まりますので、楽しい雰囲気と料理を味わいに一度おでかけになりませんか。

久保町 21-25 TEL : 045-241-8951

# 11/1～10 へそ祭り 藤棚地区連合商店街のへそ祭りが11月1日～10日(11日は新米プレゼント抽選会)に開催されます。



## 11/4 区民祭り

区民祭りが11月4日に開催されます。



## こんにちは、グループ！ チームOZジュニア

小学生を対象にバレーボールを教えている「チームOZジュニア」(チームオズジュニア)のリーダー長沼さんは、自身が小学生から始めて現在に至るまでの経験を生かして子供たちに楽しさを味わって欲しいとの思いから活動して一年半になります。



自主性を尊重しながら練習をする中で、選手とコーチでノートを交換し、それを指導に生かしているとのことでした。現在は6人の子供たちを3人のコーチで教えています。

活動は毎週土日の午後、西前小体育館、詳しくは080-6791-5251 長沼さんまで。

## 「人間がいかに生きたかを再現」(大河ドラマを題材「おもしろ歴史教室」)



横須賀港の散策

NHK大河ドラマ「平清盛」を通して、歴史を見る「おもしろ歴史教室」が成人を対象に稲荷台小コミュニティハウスで原則第一木曜日に実施されています。

平安時代の院政と藤原官僚体制、武士の登場と源平、清盛と新しい国家構想そして源平合戦まで、みなさんは自分が前の週に見たテレビのドラマを思い出しながら、先生の話に聞き入ったり質疑応答をしています。講義は史実を辿るだけでなく、人と人の愛憎や争いの図式が現代と同じで

あることを解き明かしたり、ときには私達の考え方や今の世界の動向にまで広がります。

この教室は16年前から続いています。講師の菊池仁(めぐみ)さんは、長い間講義を続けて心がけている大事なことは「教科的事実を知るのではなく、人間がいかに生きたかを再現すること」だと話してくれました。また、代表の竹田登茂子さんは「会員の学ぼうとする熱意や姿勢に生涯学習という本当の意味について考えさせられることが多い」と言います。平成25年度の「おもしろ歴史教室」はNHK大河ドラマ「八重の桜」を背景に進められる計画です。



アロハ～

# 稲荷台小コミュニティハウス



今年4月から稲荷台小コミュニティハウスの館長は、河内麻里さんにかわりました。暑さもようやく落ち着き初めた9月中旬、忙しい仕事の合間をぬってお話を聞くことができました。

「今は11月3,4日に計画している文化祭の準備を始めています。3日にはPTA主催のバザーと模擬店も行われています。コミュニティハウスは人とひとのつながりができるとても大切な場所です。どんなことをしているのかな、こんなことができるのかなあと思っている方は、百聞は一見に如かず、まず見に来てください。」と話しています。

文化祭では、たくさんの作品展示の他、手品やお茶席などの実演もあります。また平成24年度の自主事業で10月開始の教室は、手品教室、フラワーアレンジメントや絵手紙教室があります。文化祭が終わってから開始されるものはパソコン入門教室、折紙教室やクリスマスコンサートです。「ご自由においでくださって、体験して楽しんでください」と案内してくれました。(自主事業の詳細は「4月号稲荷台小コミュニティハウスだより」参照)



## 第三地区(稲荷台小学校)

### \* 健民祭10/7 \*



第三地区 天笠会長

「雨にもかかわらずみなさんが精一杯、演技をしていたのが印象的。みなさんのご協力をいただきましてありがとうございました」



## 第二地区(西前小学校)

第二地区 寺島副会長  
「午前中は雨だったが、午後から晴れて決行してよかった」

東部長寿会 鈴木さん  
「雨の中ケガしないようゆっくりはやく走りましょう。安全第一！」



## 地域啓発講座「うつ病の理解と対応」

「食欲がない」「眠れない」...  
もしかしてうつ病かな?と思っ

た時に相談できる場所を知っていただきたいとの思いから、西区役所、各地域ケアプラザ、生活支援センター西で共同して『地域啓発講座「うつ病の理解と対応」』を西区内の4カ所のケアプラザで行います。

この講座では「うつ病はどんな病気なの?」ということを知って頂くと同時に、もしかのときに相談できる場所を紹介します。2回で1つの講座となります。1回目は精神に障害のある人たちの思いをつづった映画上映を行います。つづく2回目では精神科医や看護の現場から、「うつ病の理解と対応について」の講演を行います。お近くのケアプラザで開催の際に、ぜひお越しください。

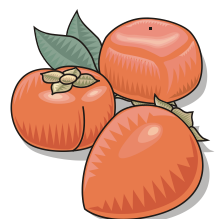
藤棚地域ケアプラザでは以下の予定です。

1回目: 11月28日(水) 13:50~16:30(13時30分受付開始)

2回目: 12月10日(月) 9:40~12:00(9時10分受付開始)

このあと、浅間台、宮崎、戸部本町のケアプラザで行います。

\* 申込み・問合せ: 11月13日~ 生活支援センター西 045-252-2414



# 親しみのある“弁天小僧”

東久保町会館の敬老会

9月16, 17の両日に東睦会・東台会・東朋会共同で敬老の日のイベントが催されました。17日の白波五人男(写真下)の口上では、弁天小僧



(右から2人目)が見ているのは、手のひらに書いたセリフ? 黒子も五人の間を大忙し(左端の人の後ろ)。



演じているのは、地元のグループ「ヒマナスターズ」です。

## エイサー納涼縁日 8月25日



沖縄フェスティバル  
9月30日

藤棚商店街



今年最後の沖縄フェスティバルは11月18日の予定です。



## 藤棚俳壇・選者 三村凧彦

花火見に赤い花緒の桐の下駄

どの子にも宿題残り法師蟬

夏嵐瀬戸焼番犬五匹割る

炎天に四五個無骨な葛の籠

別れゆく師の白日傘八十路

黒葡萄一房重く手に余る

地下道の階段上がるとさるすべり

《寸感》風台風17号が北上、秋が駈足です。

内田豊山

今吉正枝

荒川文字

星野輝子

神代涼子

小泉道子

雨宮則子

投句 当季雑詠で一人一回2句まで、氏名、連絡先を記載して。次回締切十一月二十日です。  
Eメール: aimasao@ttmy.ne.jp  
FAX : 045-895-0081

お役に立ちます1番街



ふじだな 1番街

1番街は横浜F・マリノスを応援しています!

50代からのビーズレッシン



西前小コミュニティハウスにて活動中

アクセ制作+ティタイム

いつでも、いきいき!



▲74歳生徒制作品

Tel/Fax : 242-6589 田中(名達登録講師)

藤棚新聞ホームページ  
<http://www1.ttmy.ne.jp/fujidana/>

【発行】藤棚新聞  
〒220-0053 横浜市西区藤棚町 1-99-4  
【TEL】090-9683-6099 【FAX】045-895-0081